

絵本『ばあばは、だいじょうぶ』（童心社）の主人公つばさは、小学生。いつも学校から帰ると、同居する祖母の部屋へ行き、楽しかったことや悲しかったこと、困ったことや悲しかったことなど、何でも、祖母に聞いてもらいます。なぜなら、祖母は、いつだって「だいじょうぶだよ」と言いながら、頭を撫でてくれるからです。

つばさは、そんな祖母が大好きなのです。そして、祖母に愛されているという安心感が、つばさの元気の源でした。



ところが、そんな祖母に異変が起きます。

それは、飼い犬に餌を何度も与えるようになったその日から始まります。祖母の様子が進んでとはずいぶん変わっていき、そしていつしか、つばさは、祖母に近づかなくなっています・・・

この絵本は、祖母と孫のつながりを軸に、老いや認知症、介護といった難しく、誰もが避けては通れない問題を、子どもの目線から描き出した作品です。四世代同居の経験がある私の心には、登場人物であるつばさと祖母、そして周りの人々の優しさが静かに沁みできて、思わず涙が流れてしまいました。

さて、16日は「敬老の日」でしたね。

皆さんは、たくさんの愛情を与えてくれた祖父母に感謝の気持ちを伝えることができましたでしょうか。

とは言え、「孫育て 昭和の知恵も 遠くなり」（第3回「オリックス 働くパパママ川柳」優秀賞 78歳 女性 岩手県）にもあるように、「孫育て」に奮闘している方々もたくさんいらっしゃることでしょう。実際、共働き家庭の増加に伴い、子どもの世話をする高齢者が増えているそうです。

お世話するのが親子関係だと、何かとぶつかってしまいがちになりますが、祖父母と孫の関係であれば、どこか緩やかなような気がします。

絵本に戻ります。

その後、ある冬の寒い日、「わすれてしまう病気」となった祖母が、家から突然いなくなってしまう。その時、祖母の愛に包まれていたつばさの心が突然走り出します・・・

私は、この本から、理屈ではなく、説明でもなく、「人の存在の愛おしさ」を感じる事が

できたこと、そしてこの絵本との出逢いに感謝しています。いつか私も、私の周りのつばさくんに、「だいじょうぶだよ」と、にっこりしながら穏やかに言ってあげられたら素敵だろうなと思いました。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。（アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^)

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」（<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>）>「発行物・刊行物」>すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索